

インフォメーション

問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター

TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp

①事務用ブースの使用者募集!

使用期間：2019年9月1日～2020年8月31日

(最長3年まで使用可能ですが、継続にあたり毎年審査があります)

対象：継続的に市民活動を行い、市内に専用事務所をもたない団体(事業者を除く)

募集数：1ブース

設備等：机、椅子、ロッカー

面積：4㎡

使用料：月額7,100円(※令和元年10月分から月額7,200円)

申込受付期間：2019年6月10日(月)～7月12日(金)まで ※ただし土・日は除く

申込受付時間：午前9時から午後5時まで

申込方法：仙台市市民協働推進課と市民活動サポートセンターにて配布の申請書に団体の活動内容が分かる資料等を添えて、仙台市市民協働推進課へご持参ください。(郵送不可)(仙台市ホームページからもダウンロードできます。https://www.city.sendai.jp/)

問い合わせ・申込み：仙台市市民協働推進課

仙台市青葉区二日町1-23アーバンネット勾当台ビル2階

TEL 022-214-1089

②ロッカー・レターケースの使用者募集!

貸出／募集数	使用期間	使用料	対象
ロッカー(大)／16[抽選]	2019年9月1日 ～2020年8月31日	1,200円／月	継続的に 市民公益活動を行 っている団体 (事業者を除く)
ロッカー(中)／28[抽選]		810円／月	
ロッカー(小)／60[抽選]		400円／月	
レターケース／168[先着]		無料	

申込受付期間：2019年7月8日(月)～23日(火)

午前9時～午後9時(日曜・祝日は午後5時まで)

申込方法：市民活動サポートセンターで配布の申込書・団体紹介シート・システム情報入力シートに必要事項を記入し、団体の活動内容が分かるものを添付して仙台市市民活動サポートセンター1階窓口にご持参ください。(仙台市市民活動サポートセンターホームページからダウンロードできます。)

問い合わせ・申込み：仙台市市民活動サポートセンター



奇数月最終金曜の夜はサポセンに集合!
サポセン フライデー始まる。

仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)には、地域の課題解決や地域の魅力向上に取り組む人たちが、それを支える市民の皆さんが来館しています。そんなサポセンユーザー(来館者)の皆さんが、気軽に集まり、交流できる場が「サポセン フライデー」です。

奇数月の最終金曜日の夜に、サポセンの地下1階にある市民活動シアターで開催。

団体でも個人でも、市民活動団体でも企業でも町内会でも教育機関でも、行政や外郭の人でも、サポセンのヘビーユーザーから、まだサポセンに入ったことの無い方まで、地域のことに関心がある人ならどなたでも参加OK!

みんなでワイワイ楽しく、交流しながら、顔見知りを増やし、様々な形でまちづくりに取り組む皆さんがつながる場になればと思います。

また、毎回、2つの干支を指定して、該当する干支の方とその同伴者(一緒にご入場される方)は入場無料とします。ぜひ、周りの方の干支を確認して、連れだってご参加ください。



7月のサポセン フライデー

日時：2019年7月26日(金) 19:00～20:00

会場：仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター

参加費：500円(午年・羊年生まれの方は無料)

市民ライターが、仙台の市民活動団体や
ワクワクビトを取材しています!

▶市民ライター

http://blog.canpan.info/fukkou/category_23/1



▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート]サポセンホームページからアクセス
いただくか、携帯電話等で2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
発行日 2019年7月1日
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 太田貴 菅野祥子 松村翔子 鎌田みずほ 水原のぞみ
発行部数 3000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい／団体を立ち上げたい／組織運営の悩みを解決したい／他の団体や他のセクターと連携したい／自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日 7月10日(水)、24日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日)年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ／地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分

[HP] <https://www.sapo-sen.jp> [Blog] <http://blog.canpan.info/fukkou/> [Twitter] @sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]



ぱれっと

サポセンは2019年6月に
開館20周年を迎えました!

祝



仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2019 No.239

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

今月のワクワクビト

農業見習い

おぐら まき

小倉 真紀さん(23)

地域の農業を
若い力で活性化したい

小倉さんは、現在仙台市若林区で就農に向け畑作の修行中です。小倉さんに指導をしているのは若林区で50年以上農業を営む農家で、レタスを中心に野菜を生産しています。

もともと農業に興味があり、大学2年の時、自分で農作物を生産してみたいという思いから、震災復旧から復興、地域おこしに向けて被災した農家を支援する一般社団法人ReRootsの活動に参加しました。農作業を行う中で味わった、採れたての野菜の新鮮さと美味しさに感動。野菜を生産するまでの農家の知恵や経験を目の当たりにし、次第に生産者側に強い関心を抱くようになりました。また、農家が高齢化や後継者不足で年々減っていることを知り、自ら地域の農業を支える生産者になりたいという思いも同時に募っていきました。

「ReRootsの活動で経験したことや、修行で学んだ技術を地域の若い世代に引き継ぎ、後継者不足に悩む地元農業をもっと元気にしたい」と今日も畑で汗を流します。

取材・文 市民ライター 小松敬明

仙台市若林区

東日本大震災の津波で、仙台市若林区の農家は甚大な被害を受けました。小倉さんの研修先である堀江さんは、ReRootsが復興支援をした農家の1つです。被災後地域の中でいち早く農業を再開し、地域農業の復興を率いてきました。

小倉さんは、堀江さんの農業に対する姿勢や長年培ってきた生産技術、人柄に憧れ、師事。目下の目標は、地域の農業生産技術を受け継ぎ、安全で美味しい野菜を地域の様々な世代の人に食べてもらうことです。ゆくゆくは消費者や若者に農業へ関心を持ってもらうことを目指しています。

特集

企業と学校と地域がつながり、
思いやりの心をはぐくみたい

レポート!

スポーツ映画祭と言えば仙台!
新たな仙台の祭典に

